

劇でつたえる 保育シリーズ 年少 6月

いえるかな？

第一話 「ごめんね」

第二話 「かして」「いれて」

(上演時間 約20分)

作・清田明世

● 登場人物

まさる (年少) ちよつと引つ込み思案な男の子。
ゆうき (年少) まつすぐな性格の男の子。
げんたろう (年少) 面白いことが好きな男の子。何でもリズムや歌にする。
ちほ (年少) ちよつとおませな、先進的な女の子。
さとみ (年少) 後ずさり気味だが、優しい女の子。
ナレーター 先生役

● 今月のテーマについて

入園して二カ月が経ち、次第に園での生活に慣れてきた年少の子どもたち。自分らしさが出てくることにより、周りとはぶつかるところも多くなってきたのではないだろうか。今月のテーマである「ごめんね」「かして」「いれて」は、集団生活の中でまず習得してほしい言葉ですね。どの子ども、自ら主張することに間違いはありません。その子なりに、思いがあつてのことなのですから。でも…。

どうして、みんな悲しい気持ちになるのだろう。

どうして、さみしい気持ちになるのだろう。

思いも、考えも、すること、異なる子どもたち。その姿を離れて見れば、誰か一人が正しいわけではないことが見えてきます。ぶつかりながらも、子どもらしい解決策があるのも素晴らしいことです。子どもたちの共感を引き出す作品になれば嬉しく思います。

● 本シリーズの演じ方

本シリーズは、先生役であるナレーターが舞台袖に立ち、舞台上の演者(パネルシアターの場合はパネルの絵)に向かってコメントや指導をしていく演出になっています。観客である園児の反応を巻き込みながら、園児が共感をもって演者を見ることがポイントです。

身近なテーマを取り上げますので、実演形式で行う場合は、アドリブなどをきかせながら、普段の子どもたちの様子と重なるように気軽に演じていただけたらと思います。パネルシアター形式で行う場合は、事前に各園のルールに沿ったパネルの準備が必要となります。

ナレーター

みなさん、こんにちは。
私は、〇〇先生です。

みんなは、幼稚園に来るようになって、お家とは違う場所で、先生やお友だちと、遊んだり、ごはんを食べたりするようになりました。

朝の準備とか、お片付けとか、ちよつとはわかってきたかな？

幼稚園には、お友だちがたくさんいますね。

お友だちと遊べるようになると、楽しいことがいっぱいあるよね。

これから、先生たちが、劇をします。

みんなと同じ、年少組の子どもたちのお話です。

今日の劇は、お友だちのお話です。

最後まで、見ていてくださいね。

*

第一話 「ごめんね」

○教室

ナレーター

ここは、年少組の教室です。
朝の準備が終わった子から、遊んでいます。
ちほちゃんとさとみちゃんは、ブロックで何かを作っていますね。

ちほ、さとみ、ブロックを組み立てている。

まさる、朝の準備をしている。

げん、ゆうきがぶざけあっている。

げんたろう

♪ げん、げん、げんたマン！ 参、上！ ♪
♪ とつとつとのトイレだよ ♪
♪ 1・2トイレ ♪ 1・2トイレ ♪
♪ すっきりトイレ ♪ すっきりトイレ ♪
♪ すっきりしたい ♪ すっきりしたい ♪

※本シリーズは、初めて
集団生活に飛び込む3
才児を念頭に制作してい
ます。文中では「幼稚園」
と統一していますが、保
育園やその他施設で使
用される場合は、施設名
を「変更ください」。

※ナレーターは基本的に
観客(園児)に向かって話
します。演者に向かって
先生役として話しかける
場合はこの欄に記載しま
す。

※大きなソフトブロック
がない場合は、つみきで
も良いです。

「参上」で大の字ポーズ。
股間を抑えて右左に傾く
行進

スキップ

後ろスキップ。ゆうきを
誘うように周る。